
カレイドスコープ

ロースト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カレイドスコープ

【Zコード】

Z2612M

【作者名】

ロースト

【あらすじ】

うーん、ちょっと歪んでいる主人公の後悔、でしょうか。

カレイドスコープ

絶望しきつた瞳で君は笑う

君はいつまで僕のそばにいるの？

君は僕の世界の中心だけど、君の世界の中心は？

君という存在に僕は振り回される。

君という存在が僕を狂わせる。

僕は君を万華鏡に喻える。

その華麗さが僕を惹きつけ放さない。

その神秘さが僕の眼に焼きついてる。

些細な衝撃で貌かたちを変え、新たな姿に変わつてく。

それでも僕を束縛するその性は変わりなく、

そのどれもが僕を雁字搦めに絡め取る。

雑多な欠片で構成される綺麗な様はその本質と違い、僕への枷。すべてが唯一で、等しいものなど他になく、またどこにもない。

僕を構成するのは君。君が僕の世界のすべて。

それ以上でもそれ以下でもなく。君だけ。

だから不意に知りたくなる。だからこそ壊したくなる。君を、僕の世界を。

その脆さが僕の危うさを引き立てる。

けしかけて、壊して、そして新たに出来た君を愛し、そして繰り返す。

壊して崩して、愛して。

そうやって君の僕への愛を確かめる。新たな君も僕を愛してくれるかな。

疑問を肯定にして返す君が好きだよ。

壊れて崩れて、泣いている君が大好きだよ。

そんな君に満たされる。

そのとき初めて僕は愛されていることを認識できる。

そんな君を愛している。

ほら、君はこんなにも僕を狂わせる。

だから君を壊したくて、壊したくて、その衝動を抑えられない。

だから僕は君をけしかけてた。

君が僕を愛してくれていることを知っているから。
こんな僕でも好きでいてくれるから。

だからそのときの僕は夢中で壊してた。

君の愛を疑うことなどなく、夢中で壊して崩して愛してた。

でも、やっと気づいた。

失つて初めて気づいたんだ。

些細だったけど、確かにあつた本当のヒーリ

無限だと思ってた。

際限ないと思ってた。

でも、実際はどうだ。

永遠なんてなかつた。
無限なんてなかつた。

人の心が、弱いということを忘れてた。
人の心が、脆いということを忘れてた。

壊れままになることがあるなんて、……思つてなかつたか
ら。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2612m/>

カレイドスコープ

2010年10月15日23時06分発行